

RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータのルーティングおよびリモートア クセスサービス(RRAS)へのPoint-to-Point Tunneling Protocol(PPTP)の転送

目的

Point-to-Point Tunneling Protocol(PPTP)は、VPNを実装するための方式です。PPTPは、Point-to-Point Protocol(PPP)パケットで、Transmission Control Protocol (TCP ; 伝送制御プロトコル) およびGeneric Routing Encapsulation (GRE ; 総称ルーティングカプセル化) 上の制御チャネルを使用します。ルーティングとリモートアクセスサービス(RRAS)は、サーバーがネットワークルーターとして機能できるようにするサーバーソフトウェアです。PPTPがRRASに転送されると、RRASサーバーはPPTPを転送するネットワークを制御できるようになります。

このドキュメントの目的は、Point-to-Point Tunneling Protocol(PPTP)をRouting and Remote Access Service(RRAS)に転送する方法について説明することです。

適用可能なデバイス

- RV016
- RV042
- RV042G
- RV082

RRASへのPPTPの転送

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、Setup > Forwardingの順に選択します。Forwardingページのビューを次に示します。

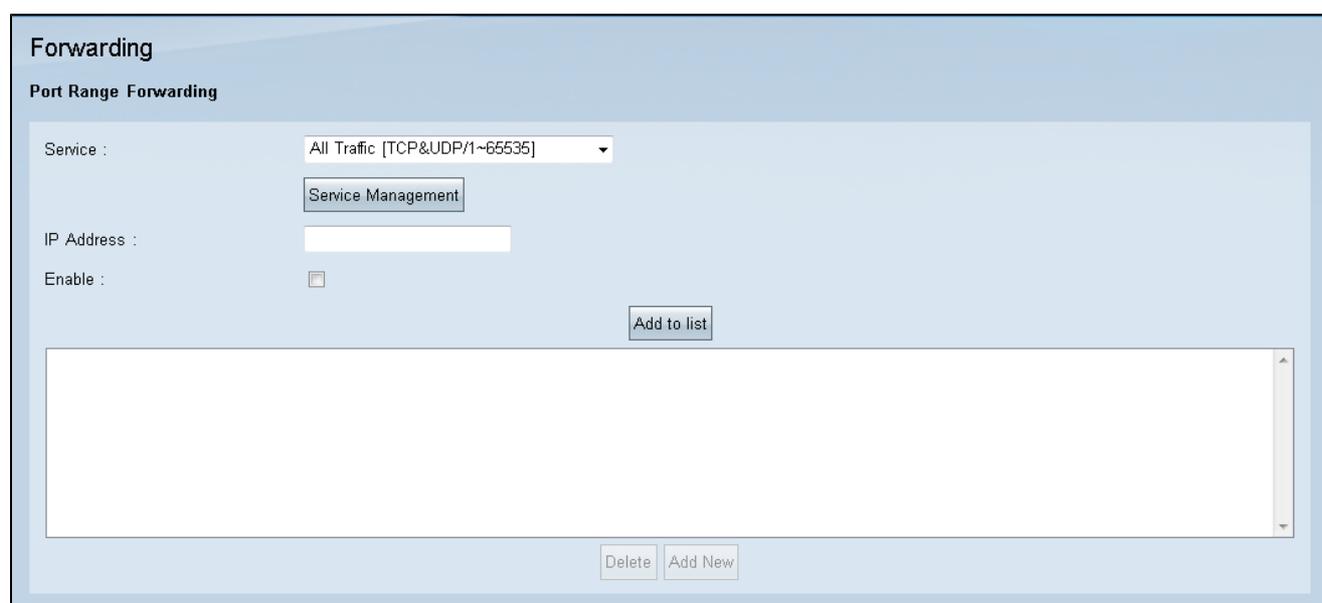
ステップ 2 : Serviceドロップダウンリストから、Point-to-Point Tunneling ProtocolにPPTPを選択します。

ステップ 3 : IP Addressフィールドに、VPNサービスをホストするサーバのIPアドレスを入

カします。IPアドレスは同じサブネットに属している必要があります（確認するには、サブネットカルキュレータを使用できます）。

ステップ 4：VPNルータでポート範囲転送を有効にするには、Enableチェックボックスにチェックマークを付けます。

ステップ 5：[リストに追加 (Add to List)] をクリックします。



Forwarding

Port Range Forwarding

Service : All Traffic [TCP&UDP/1~65535]

Service Management

IP Address :

Enable :

Add to list

Delete Add New

手順 6：[Save] をクリックします。

帯域幅の設定

帯域幅管理は、ネットワークリンク上の通信を測定および制御します。帯域幅管理は、ビット/秒(bps)またはバイト/秒(bps)で測定されます。帯域幅構成設定では、アップストリームおよびダウンストリームトラフィックと、さまざまなタイプのトラフィックに対する Quality of Service(QoS)設定が許可されます。

ステップ 1：Web設定ユーティリティで、System Management > Bandwidth Managementの順に選択します。Bandwidth Managementページが開きます。

The Maximum Bandwidth Provided by ISP

Interface	Upstream (Kbit/sec)	Downstream (Kbit/sec)
WAN1	512	512
WAN2	512	512

Bandwidth Management Type

Type : Rate Control Priority

Interface : WAN1 WAN2

Service : GRE [GRE/0~0] ▼

IP : 192.168.50.253 to 192.168.50.253

Direction : Downstream ▼

Min. Rate : 512 Kbit/sec

Max. Rate : 512 Kbit/sec

Enable :

ステップ 2 : Typeで、Rate Control オプションボタンをクリックします。

ステップ 3 : 設定を適用するInterfaceフィールドのWAN Interfaceのチェックボックスをオンにします

ステップ 4 : Serviceドロップダウンリストから、GREを選択します。GREは、仮想ポイントツーポイントリンク内で使用されるカプセル化プロトコルであり、PPTPをRRASに転送するために必要です。

ステップ 5 : IPフィールドに、サーバが使用するIPアドレスの範囲を入力します。

手順 6 : Directionドロップダウンリストから、Downstreamを選択します。

手順 7 : 最小Rateフィールドに、帯域幅の最小レートをKbit/秒で入力します。

ステップ 8 : 最大でRateフィールドに、帯域幅の最大レートをKbit/秒で入力します。

ステップ 9 : 作成した帯域幅管理の調整を有効にするには、Enableにチェックマークを付けます。

ステップ 10 : [リストに追加 (Add to List)] をクリックします。

The screenshot shows a configuration window with a light blue background. At the top center is a button labeled "Add to list". Below it is a list box containing one entry: "GRE [GRE/0~0]->192.168.50.253~253(Downstream)=>512~512Kbit/sec->WAN1, 2 [Enabled]". Below the list box are two buttons: "Delete" and "Add New". At the bottom of the window are three buttons: "View", "Save", and "Cancel".

ステップ 11[Save] をクリックします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。